

1 単元名・使用教材

- ア 単元名 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 「科学技術の倫理」
イ 使用教材 教科書 実教出版 『詳述 倫理』
新聞（朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、東京新聞、日本経済新聞、産経新聞）

2 単元の目標

- ・自然や科学技術との関わりにおいて、人間としてのあり方や生き方についての見方・考え方を身につける。
- ・情報社会における倫理的課題を見だし、その解決に向けて、倫理に関する理論や概念を用い、多面的に考察する。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 高度情報社会の特徴と AI など科学技術をめぐる用語や概念について理解できている。	① AI が社会にもたらす利益と課題について考察し、適切に表現できている。	① 情報技術をめぐる倫理的課題への理解を通して、人間としてのあり方、生き方を主体的に深く追究することができた。
② AI の特徴と倫理的課題を理解している。	② 倫理思想を AI 事例に適用し、自分の立場を表現できる。	② 他者とともにより良く生きる社会を形成しようとしている。
③ 科学技術をめぐる社会問題に関する統計資料について読み取ることができる。	③ 科学技術をめぐる倫理的課題のうち、特に関心のあるテーマを取りあげ、多角的・多面的に考察し、表現できているか。	

4 指導観

(1) 生徒観

本校は、定時制・三部制・総合学科のチャレンジスクールであり、小中時代に不登校など多様な課題を抱えた生徒が大多数(約7割)を占めており、学び直しを目的に通っている生徒が多い。それ故、グループワークや発言を苦手に生徒もいる。その一方で、大学進学希望者も多く、7割の生徒が進学している。

授業のノートやプリントについてもしっかりと記述する生徒が多いが、基礎学力の差があり、理解度や表現力は生徒一人ひとり大きく異なる。

(2) 教材観

本授業では普段から新聞を積極的に活用して、授業を展開している。また、視覚的な理解を促すため、板書はスライドにより進行するようにしている。さらに、学校図書館も積極的に活用した授業を展開している。

5 本時

(1) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 10 分	<p>○新聞記事を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容の振り返った後、「スマホ 2 時間条例」を読む。感想と意見をワークシートに記入する。 <p>○本時の目標と内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント（ワークシートと新聞記事）の配布。 ・本時の学習における目標やキーワードを明確に示す。 	イ
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の目標：AI を通して情報社会における倫理的課題について考えよう</p> </div>		
展開 7 5 分	<p>○高度情報社会の進展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を参考にして、情報技術の進展に伴い、生活が便利になった点と課題について考察する。 <p>○AI の進展に伴う倫理的課題とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI を例にして、高度情報化社会における倫理的課題について考える。 <p>生徒のグループワークの状況と時間で 1～4 を選択して説明する。</p> <p>1. 人間の尊厳との関連性を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の自律性や尊厳の侵害 ・カントやマルクスの考えを紹介する。 <p>2. AI と友だちになれるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事を参照して、考察する。 ・アリストテレスの友愛という概念から考察する。 <p>3. 人間が考えるということ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスカルやデカルトの考えを紹介する。 <p>4. AI と宗教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI は宗教的な思想を理解することができるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人作業の後、課題(リスク)についてグループ討議を行う。代表者に発表させる。 ・公共や倫理の既学習事項との関連で考えさせる。 ・人間の尊厳を守り、責任をもって AI を使うことが重要であることを理解させる。 ・新聞記事を読んで、考察させる。個人作業の後、グループ討議 ・エリックホッファー(哲学者)の紹介。 ・AI は宗教的な思想を理解し、判断し、行動することができるのか。 	<p>イ</p> <p>ウ</p> <p>ア</p> <p>イ</p> <p>ア</p>
まとめ 5 分	<p>○本時のまとめと振り返り</p> <p>○次回の説明</p>	AI 社会で重視すべき倫理的視点	

東京都高等学校新聞教材開発研究会 「公開授業」 レジюме

令和7年10月29日(水)
都立総ヶ丘高等学校 照井恒衛

1. 今年度のNIE実践

- ・授業実践(倫理、公共)
- ・社会体験実習における新聞社見学(読売新聞社)
- ・「いっしょに読もうコンテスト」参加(1学期倫理選択者の希望者)
- ・「切り抜きコンクール作品制作」(倫理の課題追究学習の一環)
- ・新聞社による講演会(読売新聞社)

2. NIE月間(10月)の設定

切り抜き作品制作 10月8日(水)

新聞社による講演 10月22日(水)

「情報倫理～AI社会における倫理的課題～」(倫理) 10月29日(水)(本日)

3. 情報倫理と「公共」や「倫理」など既学習分野との関連性

「公共」

- ・現代社会の特質(情報化社会について)
- ・青年期の悩み(SNSと承認欲求について)
- ・学びの歴史とAI(ベーコンとデカルト)
- ・人とは何か(古代ギリシャの哲学者と儒家思想)
- ・人の判断基準(カントの義務論とベンサム功利主義)
- ・思考すること(アーレント)
- ・公共空間について(ハーバマス)
- ・社会契約論(ホッブス、ロック、ルソー)
- ・情報社会における表現の自由(SNSと人権)
- ・市場経済(AIが決める価格)
- ・産業構造の変化と職業選択(AIの進化と職業選択)

「倫理」

- ・成熟した人格とは(オルポート)
- ・愛着(ボウルビィ)
- ・友人(アリストテレス)
- ・共感性(ピアジェ)
- ・生きる意味(フランクフル)
- ・人間とは(リンネ、ベルクソン、ホイジンガ、カッシーラー)
- ・人間と感情(エクマン)
- ・よく生きるとは(ソクラテス、プラトン)
- ・幸福とは(アリストテレス、ロールズ、セン)
- ・ユダヤ教の十戒(モーセ)
- ・愛とは(キリスト教のアガペーと隣人愛)
- ・イスラームの断食とは(ムハンマド)
- ・慈悲とは(ブッダ)
- ・欲望とは(ブッダ)
- ・芸術とは(ゴッホ、岡本太郎、世阿弥)